

2014年1月31日

株式会社 富士経済
 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町
 12-5 小伝馬町YSビル
 TEL.03-3664-5811 FAX.03-3661-0165
<http://www.group.fuji-keizai.co.jp/>
<https://www.fuji-keizai.co.jp/>
 広報部 03-3664-5697

注目のメカトロニクスパーツの市場を調査

2016年予測(2012年比)

汎用インダクションモータ国内市場 1,406億円(60.7%増) モータ高効率規制2015年開始

総合マーケティングビジネスの株式会社富士経済(東京都中央区日本橋小伝馬町 社長 阿部 界 03-3664-5811)は、2013年8月から11月にかけて、主にFA(ファクトリーオートメーション)の制御を掌るメカトロニクスの構成部品、機器・装置(パーツ)の市場を調査した。その結果を報告書「2013年 注目メカトロニクスパーツ市場実態総調査」にまとめた。

メカトロニクス(Mechatronics)とは、機械工学(Mechanics)と電子工学(Electronics)を合わせた和製英語である。機械制御に電子技術を応用することで、制御の高性能化や多機能化、自動化を実現するものである。この調査では、合計24品目のメカトロニクスパーツ市場(市場規模は日系グローバル市場:国内市場及び日系メーカーの海外販売額)について、現状を分析し今後の展開を予測した。加えて、プログラマブルコントローラ、プログラマブル表示器、FA用パソコン、温度調節計、ACサーボモータ、汎用インバータ、近接センサ、光電センサ、ロータリエンコーダ、産業用スイッチング電源の主要10品目については、中国市場も捉えた。

< 調査結果の概要 >

主要10品目メカトロニクスパーツ中国市場

2012年	2016年予測	12年比
343.3億円	490.7億円	142.9%

2012年は製造業における設備投資の低迷により前年比5.9%減となったが、10品目中FA用パソコン、近接センサ、光電センサ、ロータリエンコーダの4品目は拡大を維持した。2013年は前年に落ち込んだ反動で、2014年以降も自動化が進むことで市場が拡大し、2016年には490.7億円が予測される。需要は日系、欧米系セット機器メーカー向けハイエンド製品と、新興国、アジアローカル系セット機器メーカー向けローエンド製品の二極化が進んでいる。

技術力を持ち始めている中国系メーカーが、アジアでの位置を確保しつつある台湾系、韓国系と共に、日系、欧米系メーカーの脅威となっており、プログラマブルコントローラ、ACサーボモータ、センサは日系、欧米系メーカーがけん引するものの、FA用パソコン、温度調節計、産業用スイッチング電源では中国系メーカーが実績を伸ばし、台湾系、韓国系メーカーも一定のシェアを確保している。

24品目メカトロニクスパーツ日系グローバル市場

2012年	2016年予測	12年比
1兆2,680億円	1兆5,682億円	123.7%

2012年は国内での半導体、液晶製造装置分野の低迷や東日本大震災後の復興需要の遅れ、中国での金融引き締めによる製造業の設備投資需要の停滞などで前年比8.9%減となった。2013年は、国内の停滞感は続いているものの、海外を中心に需要が回復しており、前年比4.5%増が見込まれる。

日系メーカーによる海外展開の中でも中国への注目度は高いが、急激な円安転換と中国の人件費高騰を受け、一極集中の生産体制にやや変化が生まれた。今後の経済成長の活発化と製造業の隆盛が期待され、材料・部品メーカーが集積し、日系ユーザーも多いアセアンへ生産シフトを進めるメーカーも出ている。なお、ポスト中国の一つとして注目されていたブラジルは地理的要因や経済成長率の鈍化から日系制御機器メーカーによる展開は先延ばしとなっている。

< 国内の注目市場 >

海外はモータ単体での効率性能規制が一般的であるが、国内ではインバータ等システム全体での効率を重視してきたため、モータ自体は低効率のものが多く、しかし、国内でも2015年4月よりモータ高効率規制(トップランナー基準/IE3)が開始される予定であり、メーカーは高効率モータの開発やユーザーへの周知活動を進めており、モータの買い替え需要の増加が期待される。

	2012年	2016年予測	12年比
汎用インダクションモータ	875億円	1,406億円	160.7%
産業用IPMモータ	82億円	119億円	145.1%

汎用インダクションモータは、容量75kW以下の三相誘導モータを対象とする。2012年は小容量製品が落ち込み前年比9.7%減となったが、2013年は中盤から設備投資需要の回復がみられ、微減に落ち着く見込みである。2015年からのモータ高効率規制によりエネルギー効率の低い製品は出荷できなくなるため、2014年頃から規制に対応した製品の展開が始まり市場が拡大し、2016年には1,406億円が予測される。なお、インダクションモータは使用される裾野が広く、ユーザーに合わせたカスタム品での出荷が中心であり、日系メーカーのシェアが高い。

産業用IPMモータは、インダクションモータに比べ省スペースでエネルギー効率の高い点が特徴である。2012年に市場が縮小しなかった数少ない品目の一つであるが、価格の高さがネックとなり現状は環境意識の高いユーザー向けなどが中心である。省エネ性能や輸出先別に効率規制の認証を取得する必要がない点などをアピールしており、高効率規制によってインダクションモータからIPMモータへの置き換えも期待される。

< 調査対象 >

中国市場(10品目)	
プログラマブルコントローラ、プログラマブル表示器、FA用パソコン、温度調節計、ACサーボモータ、汎用インバータ、近接センサ、光電センサ、ロータリエンコーダ、産業用スイッチング電源	
日系グローバル市場:国内市場及び日系メーカーの海外販売額(24品目)	
コンピュータ&コントローラ	プログラマブルコントローラ、プログラマブル表示器、CNC装置、モーションコントローラ、FA用パソコン、パネルコンピュータ、温度調節計
ドライブ&モータ	ACサーボモータ・ドライバ、リニアモータ、ダイレクトドライブモータ、産業用ステッピングモータ、汎用インバータ、汎用インダクションモータ、産業用ギアードモータ、産業用IPMモータ
センサ	近接センサ、光電センサ、レーザ変位センサ、リニアエンコーダ、ロータリエンコーダ
受配電機器	コンタクタ、産業用配線用遮断器、電力調整器、産業用スイッチング電源

< 調査方法 >

富士経済専門調査員による対象企業及び関連企業・団体等への直接面接取材と電話ヒアリング

< 調査期間 >

2013年8月~11月

以上

資料タイトル	2013年 注目メカトロニクスパーツ市場実態総調査		
体 裁	A4判 246頁		
価 格	書籍版	130,000円+税	
	PDF版	130,000円+税	
	書籍版・PDF版セット	150,000円+税	
調査・編集	株式会社 富士経済 大阪マーケティング本部 第二事業部		
	TEL:06-6228-2020 FAX:06-6228-2030		
発 行 所	株式会社 富士経済		
	〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町12-5 小伝馬町YSビル		
	TEL:03-3664-5811(代) FAX:03-3661-0165		
	e-mail:info@fuji-keizai.co.jp		
	この情報はホームページでもご覧いただけます。		
	URL: http://www.group.fuji-keizai.co.jp/ https://www.fuji-keizai.co.jp/		